

文化遺産調査特別展

名家の かがやき

— 近郊郷土の美と文芸 —

江戸の美ここに極まれり。



令和2年
11月29日《日》

令和3年
2月23日《火》

開館時間…午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）
休館日…毎週月曜日 ※祝日の場合は開館し翌平日に休館になります。

年末年始（12月28日～1月4日）

足立区立郷土博物館

〒120-0001 東京都足立区大谷田5-20-1
【TEL】03-3620-9393 【FAX】03-5697-6562



令和2年度文化庁
文化芸術創造拠点形成事業



足立区

文化遺産調査特別展

名家の

かがやき

近郊郷士の美と文芸

文化もささえた郷士たち

あだちの名家

江戸近郊の郷士たち

江戸時代のはじめ、開発人という武士―郷士たちが足立の農地を開きました。それから200年、幕末にその子孫たちが再び郷士として活躍します。小右衛門新田(現足立区中央本町・梅島付近)の開発人の子孫、日比谷健次郎は北辰一刀流の剣術道場を開き、幕府講武所とも連携するようになりました。また、掃部新田(のちの千住掃部宿)の開発人、石出掃部介家は名字帯刀を許された千住宿の総代となり、地域の運営を担いました。

文化の担い手として

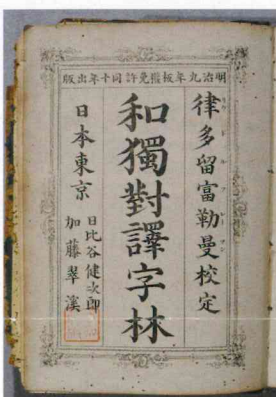
郷士たちは学問や書画文芸にも精通し、江戸の武家文化の中で好まれた狩野派の絵画をその生活の中で伝えました。さらに石出家は狩野派の画法を学ぶ人物も輩出します。また日比谷家は、日本初の和独辞書を発行するなど文化の担い手となりました。本展では、足立の歴史を代表する名家である彼ら郷士と、その縁戚の家々が伝えた貴重資料をご観覧いただきます。



高田円乗門人 石出円得「福祿寿図粉本」
当館蔵(石出家資料)



高田円乗《雲龍図》
当館蔵(石出家資料)



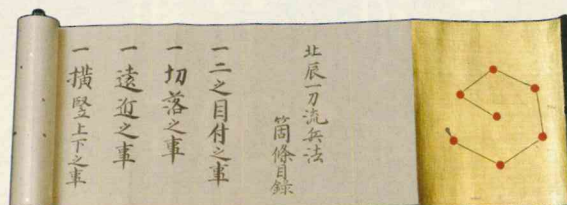
R.レーマン校定、日比谷健次郎・
加藤翠溪発行『和獨對譯辞林』
明治10(1877)年
日比谷家伝来資料



「鉄黒漆塗亀甲鉄繫畳胴具足」江戸時代
日比谷家伝来資料



狩野探信守政《西王母・東方朔図屏風》
当館蔵(濱田家資料) ※濱田家は石出家縁戚



「北辰一刀流兵法箇條目録」安政3(1856)年
日比谷家伝来資料



足立区立郷土博物館

〒120-0001 東京都足立区大谷田5-20-1
Tel:03-3620-9393 Fax:03-5697-6562

開館時間 ■ 午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休館日 ■ 毎週月曜日
※祝日の場合は開館し翌平日に休館になります。
年末年始(12月28日～1月4日)
入館料 ■ 一般200円(高校生以上)
団体(20名以上)は半額
無料対応 ■ 70歳以上の方(年齢のわかるものをお持ちください)
障害者手帳保持者およびその介助者1名
無料公開日 ■ 第2・3土曜日

交通案内 ■
■ JR亀有駅北口より
東武バス(八潮駅南口)行 (足立郷土博物館)下車 徒歩1分
東武バス(六ツ木都住)行 (東洲江庭園)下車 徒歩4分
■ JR・東京メトロ千代田線綾瀬駅西口より
東武バス(六ツ木都住)行 (東洲江庭園)下車 徒歩4分
■ TXつくばエクスプレス八潮駅南口より
東武バス(亀有駅北口)行 (足立郷土博物館)下車 徒歩1分
■ 無料駐車場有

新型コロナウイルス感染拡大防止に
ご協力お願いいたします。
詳しくは当館ホームページをご覧ください。

